



新生 ニュースレター

人生ピンチヒッター友の会 2023 秋

『人生ピンチヒッター』3か条 1. 『人に接する呼吸を得ている者』 2. 『性格の悪くない者』 3. 『無規則で始める勇気と胆力を』



ようこそ、「紙面上のカフェ」へ。・。＊

岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 山本 ひろみ

2023年7月、岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」は、4周年記念の会を皆様と迎えました。巣鴨カフェ「桜」では、コロナ禍参加できない方がつながれるひとつの方法として「桜の樹」ニュースレターを発行してきました。当初私が各地で出会った方々から原稿を頂くことが多かったのですが、最近、私自身病状の進行から、他のカフェに参加できずにいたところ、今までと同じように原稿を頂き、勇気づけられ、力を頂いて、私自身がこのニュースレターをより大切な交流の場として感じていることに気がきました。また、ニュースレターを見て下さった方にも同じように感じて下さっていた方がおられることを知り、感謝の気持ちと喜びで胸がいっぱいになりました。カフェへの参加は難しくなってきた方たちにとって、ニュースレターがもたらす「紙面上のカフェ」を寄り添いの場の一つとして楽しみにして頂けるように、今後は私の持てる力をつくしていけたらと思います。



日常に感謝して

東村山がん哲学外来カフェ 大弥佳寿子



20年近く乳がんの再発治療を続けてきましたが、ここへきて脚の浮腫みやお腹に水が溜まる症状があり自宅で過ごす時間が増えてきました。そうした中で毎月のカフェへの参加が身近な目標の一つになっています。

8月19日には東村山カフェ開設9周年を迎え、今回はスタッフの方から「ケーキとお茶をいただきながら、ゆったりとカフェをしませんか」との提案をいただき、当日はコンベンションホールのテーブルを囲んで、美味しいケーキをいただいた後、カフェをしました。久しぶりに参加された方が「病気やコロナの経験を通して普通に過ごせる日常が貴いと痛感した。日々感謝の気持ちを忘れずにありたい」と語られ、またある方は「病気の話は誰にでも話せるものではないので、当初は不安な気持ちでいっぱいだったが、カフェで話せたことで気持ちが落ち着いた。定期的に参加することでまた元気になれる」と話して下さいました。

私も皆さんのお話に沢山の励みや勇気をいただき、これからもカフェが続けられるよう努めて参りたいと思います。

一期一会

目白がん哲学外来
森 尚子



それを繰り返し、生きている私達。一生に一度限りの機会を大切に、常に「これが最後かもしれない」と思い、その時を大切にしなければいけないと思いました。

前だけを向いて、仲間と共に歩んでいこうと思いました。次回(2024年)は、埼玉県で開催されます。よろしくお願いいたします。

第6回 がん哲学外来市民学会 認定コーディネーターアドバンスコースに参加しました。会場は、標高1800mの万座温泉 日進館。レクチャー「体験を言葉にする・体験を伝える」でした。今回、初めてお会いした方。久しぶりにお会いした方。いつも、お会いしている方。机を並べて、会話と対話の時を過ごしました。がん哲学外来を通して、自分を振り返る事が出来ました。一日一日、四季を通して、出会いと別



編集:丘の上のカフェ・シャローム
石井 瑠美

連絡先: 03-3943-1879

後援:一般社団法人がん哲学外来

